

廿日市高齢者ケアセンター 開設30周年記念事業

ご理解とご支援のお願い

廿日市高齢者ケアセンターは、特別養護老人ホーム清鈴園の開園からの働きへ地域から信頼をいただき、廿日市市の要請により1995年に開設されました。

これまで、関係者・関係機関及び地域住民のお支えとご理解とご協力をいただきながら、介護保険事業に限らない、地域の福祉ニーズに対する事業や活動に取り組んでまいりました。現在も、特別養護老人ホーム・ケアハウスのほか、居宅介護支援事業所・デイサービスセンター・訪問介護、地域包括支援センター・介護人材育成コーディネート事業・ボランティア育成事業などの高齢者を対象にした事業及び、子どもの居場所づくり事業・学習支援事業など児童を対象とした事業等も行っています。

このたび、2025年6月1日に開設30周年を迎えることができました。当施設の歴史を振り返りますと、原爆孤老問題への取り組みとして開設された清鈴園の理念を共有し、福祉事業・活動のみならず、被爆体験の継承を運営基本方針の1つとして取り組んでまいりました。また、開設以来、認知症になっても安らぎのある暮らしが継続できるよう、地域への認知症啓発活動や認知症の人が安らぎと楽しみを感じることが出来る居場所づくり、訪問活動、家族介護者の支援に取り組んでまいりました。30周年の節目にこれらの取り組みをさらに充実させるべく取り組んでまいりたいと考えております。

どうか、「開設30周年記念事業」の趣旨をご理解いただき、ご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



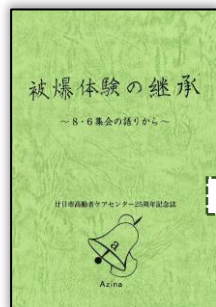
2025年6月
社会福祉法人西中国キリスト教社会事業団
廿日市高齢者ケアセンター

開設30周年記念事業（概要）

テーマ『ささえあいで30年。感謝と未来へ』

I 被爆体験の継承活動

戦後80年が経過する中、被爆体験を語っていただける方の声をさらに記録に残し、これまでの証言とあわせて次の世代に継承するための冊子の製本と継承活動を行います。



25周年記念誌

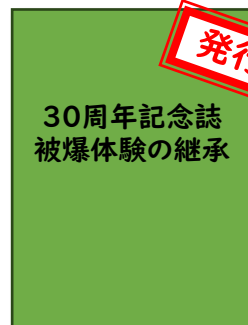


これまでの取り組み（一部）

コロナ禍に新たな証言を記録
(2021～)



被爆体験記を中高生や大学生等に読んでもらい、その感想を記したものを
(2021～)



発行

継承活動へ繋ぐ

II 認知症の人と家族の支援活動

認知症の人と家族等が地域において安心して日常生活を営むことができるよう、定期的な家族の集いやご本人・家族の集いなどを通じて、伴走型支援に取り組みます。

介護家族同士の交流の場づくり



認知症の人と介護家族等が共に過ごす場づくり



III 環境整備

廿日市高齢者ケアセンターのさまざまな機能や空間を関係者及び住民に有効活用していただけるよう必要な整備や修繕を行います。



老朽化した部分の修繕等



心地よい空間づくり



「開設30周年記念事業」について、ご理解とご協力をお願いいたします。なお、廿日市高齢者ケアセンターを支える会では皆様からのご寄付を承っております。

社会福祉法人西中国キリスト教社会事業団
廿日市高齢者ケアセンター
(阿品清鈴・ささえ・第2清鈴園)

【廿日市高齢者ケアセンターを支える会】
ゆうちょ銀行

加入者名 西中国キリスト教社会事業団
廿日市高齢者ケアセンター
口座番号 01380-0-24815

〒738-0054 広島県廿日市市阿品4丁目51-32

Tel.0829-36-2552 fax0829-36-2550

ホームページURL : <https://carecenter.jp/>

Mail : info@carecenter.jp



公式HP

